

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年3月22日 (2019.3.22)

【公表番号】特表2018-507847(P2018-507847A)

【公表日】平成30年3月22日 (2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2017-541661(P2017-541661)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/351 (2006.01)

A 6 1 K 31/215 (2006.01)

A 6 1 K 31/196 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 11/00

A 6 1 K 31/351

A 6 1 K 31/215

A 6 1 K 31/196

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 39/395

A 6 1 K 39/395 P

A 6 1 K 48/00

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月8日 (2019.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

病原体に起因する感染を有する対象において、二次感染に関連する疾患を処置または予防するための、前記病原体に対する抗病原体剤と、膜型 1 マトリックスメタロプロテイナーゼ 1 (membrane type 1-matrix metalloproteinase 1) (MT1-MMP1) を特にダウンレギュレートする薬剤との使用。

【請求項 2】

病原体に起因する感染を処置するための、前記病原体に対する抗病原体剤と、MT1-MMP1 を特にダウンレギュレートする薬剤との使用。

【請求項 3】

前記二次感染が、血液感染である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記疾患が、敗血症である、請求項 1 の使用。

【請求項 5】

前記感染が、呼吸器感染である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 6】

前記病原体が、ウイルスである、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 7】

前記ウイルスが、呼吸器ウイルスである、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記呼吸器ウイルスが、インフルエンザである、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記抗病原体剤が、ノイラミニダーゼ阻害剤（N A I）である、請求項 6 に記載の使用

。

【請求項 10】

前記二次感染が、細菌感染である、請求項 6 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 11】

前記細菌感染が、肺炎球菌（S. p n e u m o n i a e）である、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 12】

前記 M T 1 – M M P 1 をダウンレギュレートする前記薬剤が、抗体である、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 13】

インフルエンザを処置するための、M T 1 – M M P 1 を特にダウンレギュレートする薬剤の使用。

【請求項 14】

抗病原体剤と、M T 1 – M M P 1 を特にダウンレギュレートする薬剤とを含む、製造品

。

【請求項 15】

前記抗病原体剤が、抗ウイルス剤である、請求項 14 に記載の製造品または医薬組成物

。